

2023年度第3四半期 決算説明会資料

2024年2月13日

100年をつくる会社



1. 決算サマリー
2. 業績ハイライト
3. 事業別の概況
4. トピックス

2023年度第3四半期決算

- **連結売上高は前年同期比13.8%増収、営業利益は9.5%増益**
 - 単体業績は、建築事業の順調な進捗及び開発事業における物件売却による利益計上を主因に増収増益
 - 国内関係会社は、開発系関係会社が保有する物件の売却が計画どおりに実現し、増収増益
 - 単体及び国内関係会社の増益が海外関係会社の減益を補い、連結営業利益は増益
 - 通期予想は変更せず、連結当期純利益は1,070億円の見込み
- **連結建設受注高は前年同期比19.8%増の2兆923億円**
 - 国内の建設需要は強く、大型半導体工場や再開発案件などの受注を主因に前年同期を上回る
 - 海外受注高は、欧米における大型工事の受注により大幅増加

2023年度第3四半期（3か月間）における主要受注工事

種別	工事名称	発注者	工事場所
土木	松山自動車道内子工事	西日本高速道路株式会社 四国支社	愛媛県
建築	Rapidus新工場IIM-1（イームワン）	Rapidus株式会社	北海道
建築	自由が丘一丁目29番地区第一種市街地 再開発事業	自由が丘一丁目29番地区市街地 再開発組合	東京都
建築	千葉市立新病院整備工事	千葉市	千葉県
海外 関係会社	KOAマレーシア新工場 新築工事※	KOA Denko Malaysia (KOA株式会社マレーシア現地法人)	マレーシア

※はカジマ アジア パシフィック ホールディングス ピー ティー イー リミテッドの受注工事

2023年度第3四半期 決算実績

単体・国内関係会社の増収増益を主因に、連結業績は増収、営業増益

2023年度第3四半期 決算実績ハイライト

単位：億円

	連結		
	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	前年同期比
売上高	17,531	19,946	+2,415
営業利益	932	1,021	+88
経常利益	1,212	1,128	△84
親会社株主に帰属する 四半期純利益	820	766	△54
建設受注高	17,461	20,923	+3,461

(換算レート) 単位:US\$ ¥144.81 ¥149.58

単体		国内関係会社		海外関係会社	
2023年度 第3四半期	前年同期比	2023年度 第3四半期	前年同期比	2023年度 第3四半期	前年同期比
11,723	+1,543	2,715	+248	6,363	+571
740	+165	194	+82	86	△161
931	+157	234	+90	106	△314
693	+128	181	+75	35	△240
12,575	+1,238	1,649	+156	7,315	+2,046

¥149.58

- 単体は、建築事業の売上高増加及び売上総利益率改善に加え、開発事業の物件売却により増収増益
- 国内関係会社は、開発物件の売却が計画どおりに実現したことを主因に増収増益となった
- 海外関係会社は、開発事業における売却益の減少を主因に各段階利益が前年同期を下回った
- 建設受注高は、国内や欧米において大型工事を複数受注し、前年同期を上回った

第3四半期決算は概ね計画どおりであり、通期予想は変更せず

2023年度 通期予想ハイライト

単位：億円

	連結		進捗率
	2023年度 第3四半期	2023年度 通期予想	
売上高	19,946	26,100	76.4%
営業利益	1,021	1,440	70.9%
経常利益	1,128	1,530	73.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	766	1,070	71.6%
建設受注高	20,923	26,500	79.0%

(換算レート) 単位:US\$ ¥149.58 ¥149.58

2023年度 第3四半期	2023年度 通期予想	国内関係会社		海外関係会社	
		2023年度 第3四半期	2023年度 通期予想	2023年度 第3四半期	2023年度 通期予想
11,723	14,800	2,715	3,600	6,363	9,000
740	990	194	214	86	250
931	1,170	234	260	106	250
693	870	181	200	35	150
12,575	16,300	1,649	2,000	7,315	9,000

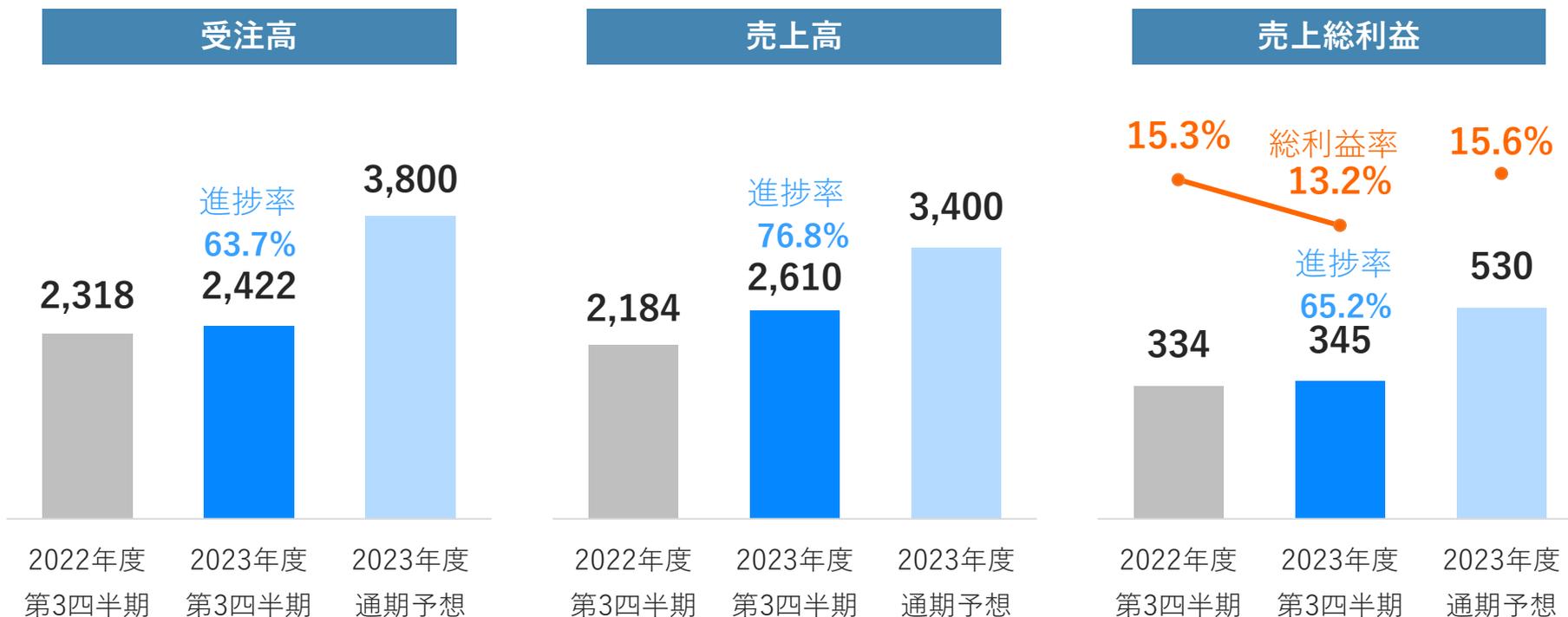
¥149.58 ¥149.58

- 2023年11月13日に発表した通期業績予想は変更せず
- 単体・国内関係会社は、通期予想に対して順調に進捗
- 海外関係会社は、第4四半期に米国における開発物件の売却や建設事業の損益改善などにより、通期予想の達成を見込む

事業別の概況 | 土木事業（単体）

3. 事業別の概況

単位：億円



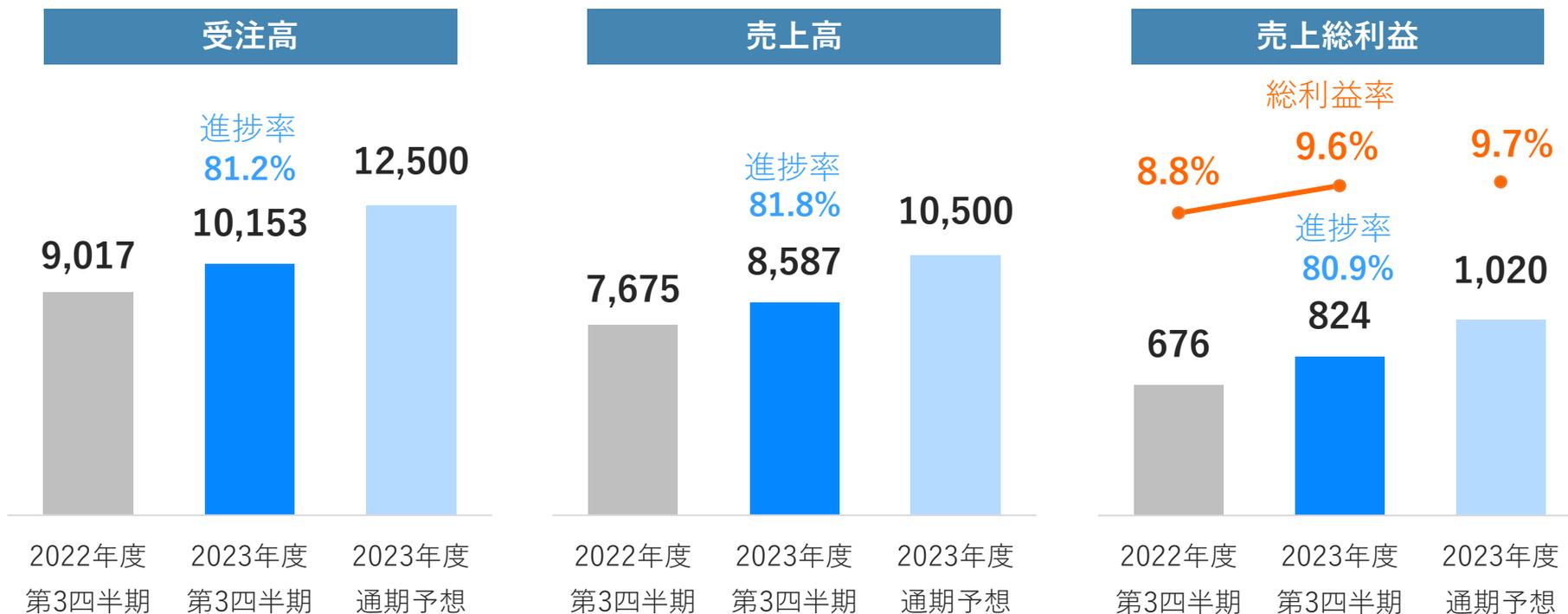
2023年度第3四半期

- 受注高は、第4四半期における新規工事の受注や設計変更契約の獲得により、通期予想の達成を見込む
- 売上高は、施工中工事が順調に進捗し、増収となった
- 売上総利益率は、第3四半期までの竣工工事が少なく、設計変更などによる損益改善が小さかったため通期予想を下回るものの、第4四半期に竣工を予定している工事を中心とする改善を見込む

事業別の概況 | 建築事業（単体）

3. 事業別の概況

単位：億円



2023年度第3四半期

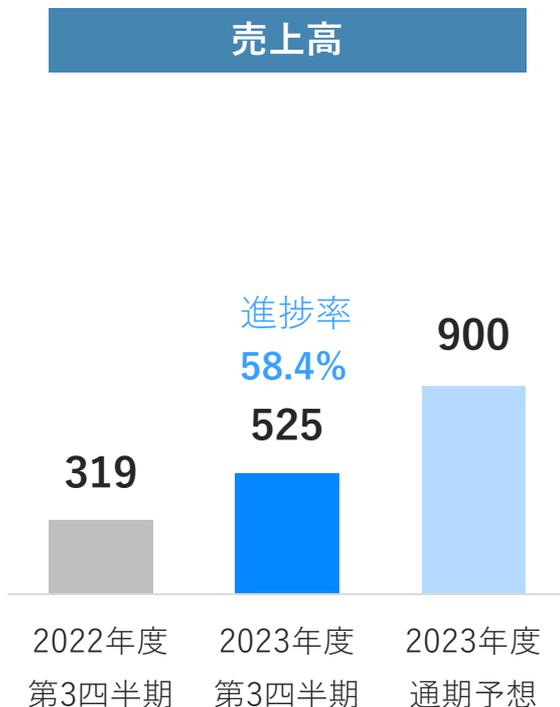
- 受注高は、大型の半導体工場や再開発案件を受注したことを主因に、前年同期を上回った
- 売上高は、施工中工事が順調に進捗し、増収となった
- 売上総利益は、増収に加え売上総利益率が向上したことから前年同期比増益となった

事業別の概況 | 開発事業等（単体）

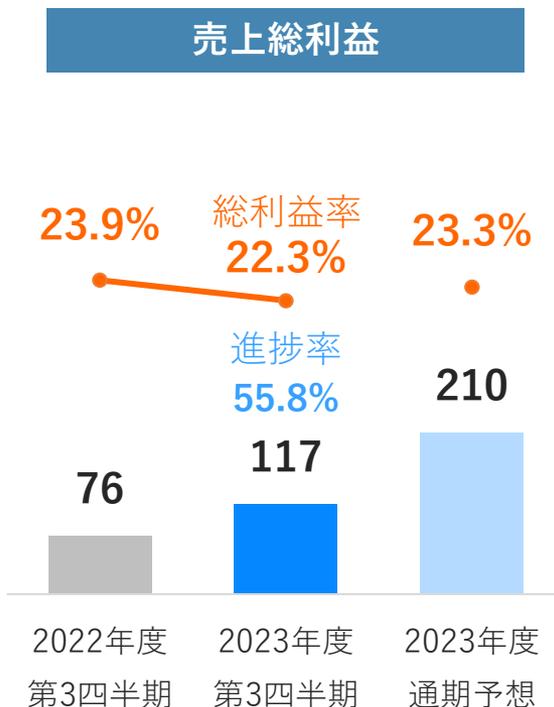
3. 事業別の概況

単位：億円

売上高

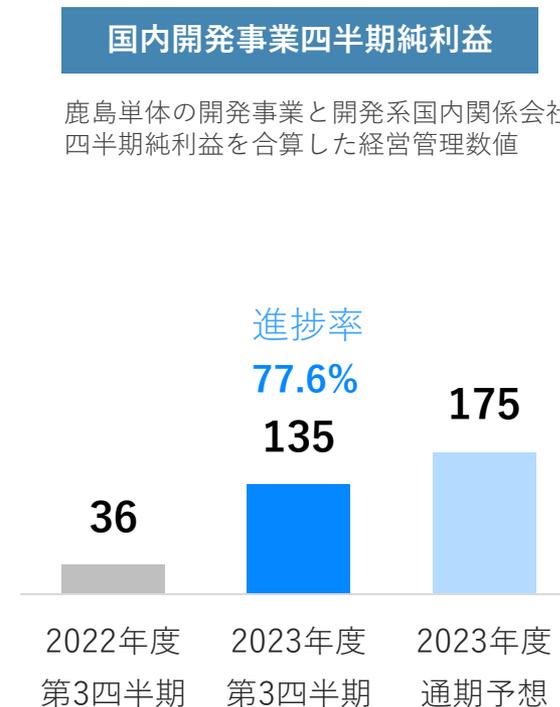


売上総利益



国内開発事業四半期純利益

鹿島単体の開発事業と開発系国内関係会社の四半期純利益を合算した経営管理数値

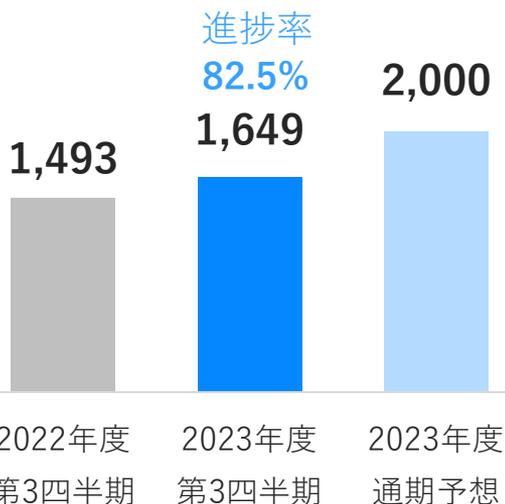


2023年度第3四半期

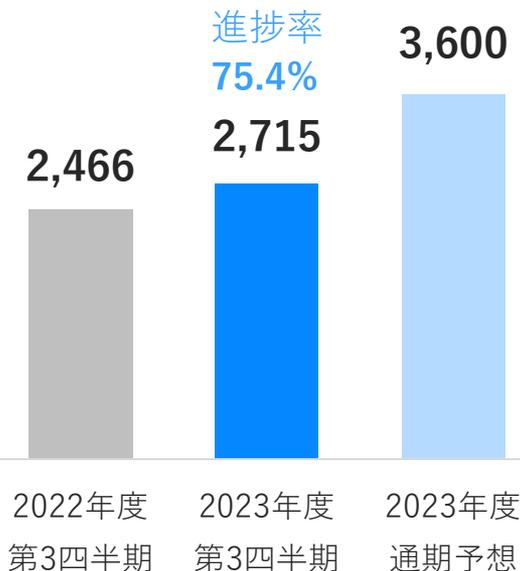
- 売上高、売上総利益は、不動産販売事業における物件売却を主因に前年同期を上回った
- 第4四半期にも複数物件の売却を計画している
- 単体開発事業と開発系国内関係会社の当期純利益の合算値（国内開発事業の経営管理数値）は通期予想175億円の達成を見込む

単位：億円

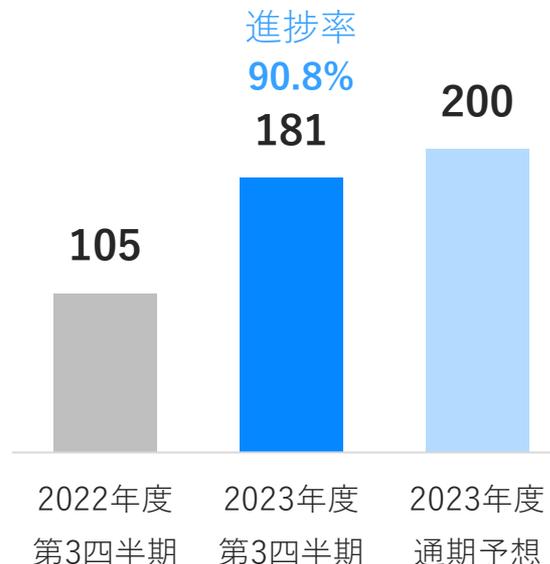
建設受注高



売上高



四半期純利益



2023年度第3四半期

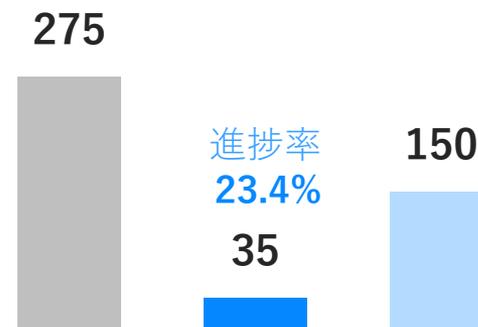
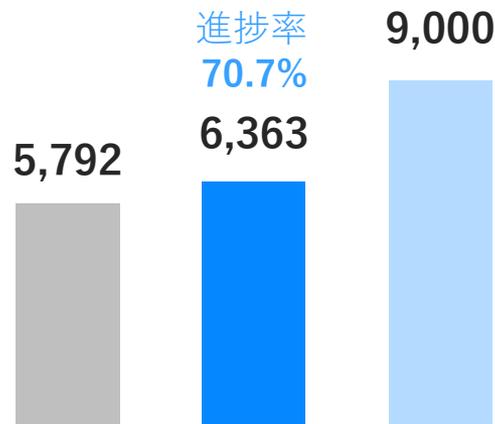
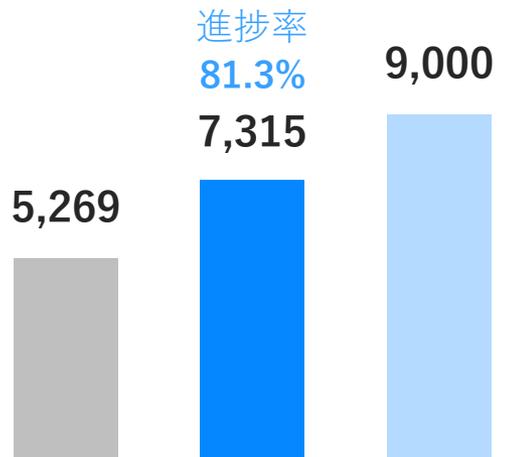
- 建設受注高は、道路工事や設備工事などの受注が増加し、前年同期を上回った
- 売上高・四半期純利益は、開発系関係会社が保有する開発物件の売却や、建設事業の順調な進捗により、前年同期を上回った

単位：億円

建設受注高

売上高

四半期純利益



2022年度
第3四半期

2023年度
第3四半期

2023年度
通期予想

2022年度
第3四半期

2023年度
第3四半期

2023年度
通期予想

2022年度
第3四半期

2023年度
第3四半期

2023年度
通期予想

換算レート ¥144.81
単位: US\$

¥149.58

¥149.58

¥144.81

¥149.58

¥149.58

¥144.81

¥149.58

¥149.58

2023年度第3四半期

- 建設受注高は、米国や欧州において大型工事を受注したことなどにより前年同期を上回った
- 売上高は、米国や大洋州における建設事業の売上高増加により増収となった
- 四半期純利益は、開発事業における売却益の減少を主因に前年同期を下回った
- 第4四半期における米国開発物件の売却や建設事業の損益改善などにより、通期予想の達成を見込む

海外関係会社 建設等・開発事業別 業績ハイライト

※事業別の数値については内部取引調整前の管理数値

	建設事業等				開発事業			
	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	前年同期比	2023年度 通期予想	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	前年同期比	2023年度 通期予想
売上高	4,917	5,538	+620	7,578	1,013	909	△103	1,829
売上総利益	192	210	+18	313	389	273	△115	457
	3.9%	3.8%	△0.1 pt	4.1%	38.4%	30.1%	△8.3 pt	25.0%
営業利益	11	△22	△34	7	252	136	△116	269
営業外損益	19	21	+2	16	155	19	△136	12
（開発事業出資損益）	(0)	(0)	—	(0)	(138)	(45)	(△93)	(29)
経常利益	30	△1	△31	24	408	156	△252	282
特別損益	△0	0	+1	0	7	△0	△7	14
親会社株主に帰属する 当期純利益	10	△14	△24	△4	292	93	△198	198
(換算レート) 単位:US\$	¥144.81	¥149.58		¥149.58	¥144.81	¥149.58		¥149.58

- 通期予想は、建設事業等、開発事業ともに2023年11月13日の公表数値から変更していない
- 建設事業等は、第2四半期に東南アジアにおいて損失計上したものの、損益改善が着実に進んでいる
- 開発事業は、売却益が高水準であった前年同期比で減益となった
第4四半期の米国開発事業における物件売却などにより、通期予想の達成を見込む

- 2023年度第2四半期に中期経営計画に掲げた縮減目標に到達
- 第3四半期3か月間にも43億円の政策保有株式を売却し、第4四半期以降も更なる縮減を進めていく

縮減状況

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 第3四半期累計	計	中期経営計画
売却銘柄数 (一部売却を含む)	17銘柄	17銘柄	20銘柄	—	—
売却額	148億円	100億円	103億円	352億円	300億円以上 (3か年累計)

100年をつくる会社



お問合せ先

鹿島建設株式会社 経営企画部

コーポレート・コミュニケーショングループ

E-Mail : ir@ml.kajima.com

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。